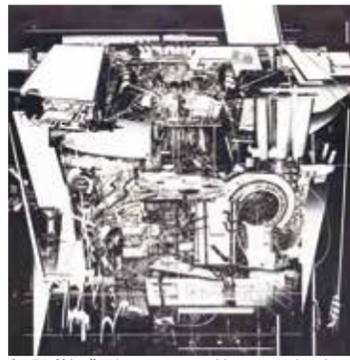




美術館・博物館 などの催し

*印の施設では、障害者手帳などをお持ちの方とその介護者(1人)は無料です。証明できるものをお持ちください

近代美術館企画展「Monolog in the Doom」 佃弘樹*



佃弘樹『The Needle and the Damage Done』2017年



東京、ニューヨーク、ベルリンなどグローバルなアートシーンで作品を発表し続ける佃弘樹の「現在」を紹介します。
日 12月16日(月)まで 午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)
休 月曜日(11月4日、12月16日を除く)、11月5日(火)
※展示替えによる休館日もあります
所 県立近代美術館(高崎市綿貫町)
観覧料 一般11300円、大学・高校生11500円、中学生以下11無料
他 詳しくは、県立近代美術館ホームページ(HP参照)をご覧ください
問 ☎027・346・5560

ぐんま昆虫の森「虫の絵作 品展」*



今年度金賞受賞者の作品

県内の小学生が夏休みに描いた虫の絵の中から、校内で選ばれた作品を展示します。

日 12月24日(火)まで 午前9時30分～午後4時30分(入館は4時まで)
休 月曜日(11月4日を除く)、11月5日(火)
所 県立ぐんま昆虫の森(桐生市新里町)
入園料 一般11410円、大学・高校生11200円、中学生以下11無料
問 ☎0277・74・6441

日本絹の里特別展「岡田教子 伝統の緋・未来へ繋ぐ」*

日本の伝統的な手拵り緋の技法に自身の機織り技術を融合した、新しい染織の世界を作り上げる岡田教子の作品を中心に紹介します。
日 11月9日(土)～12月16日(月) 午前9時30分～午後5時
休 火曜日
所 県立日本絹の里(高崎市金古町)
観覧料 一般11200円、大学・高校生11100円、中学生以下11無料
問 ☎027・360・6300



岡田教子「It creates me.」(左)、「When I am with you, I feel alive.」(右)

埋蔵文化財調査事業団最新 情報展「天明泥流に被災した村」

日 11月10日(日)～2年4月中旬 午前9時～午後5時(入場は4時30分まで)
休 土曜日、12月28日(土)～1月4日(日)、祝日(1月12日、2月23日を除く)、1月13日(月)、2月24日(月)
所 県埋蔵文化財調査センター発掘情報館(渋川市北橋町)
内 浅間山の噴火に伴う天明3年の泥流で埋没した、江戸時代の集落から出土した生活用品や仏具を展示します
観覧料 無料
問 ☎0279・52・2513

館林美術館ピカソ展記念講 演会「《ゲルニカ》は誰のもの?」

企画展示「ピカソ展―ゲルニカ『タピスリ』をめぐって」の記念講演会です。
日 11月10日(日) 午後2時～3時30分
所 県立館林美術館(館林市日向町)
演題 《ゲルニカ》は誰のもの?―ピカソとスペインの綱引き
講師 松田健児(慶應義塾大学准教授)
料 無料
申し込み方法 当日、会場に直
他 詳しくは、館林美術館ホームページ(HP参照)をご覧ください
問 ☎0276・72・8188

歴史博物館企画展講演会「土 偶のかたちの面白さ」

日 11月17日(日) 午後1時30分～3時
所 県立歴史博物館(高崎市綿貫町)
講師 原田昌幸(文化庁主任文化財調査官)
内 土偶の「かお」に注目し、土偶の形の移り変わり面白さを分かりやすく話します
定 144人(定)

ぐんま天文台「双眼鏡で天 体を探そう」*

双眼鏡を使って星雲や星団を探す方法をご紹介します。
日 11月23日(土) 午後6時～8時30分
所 県立ぐんま天文台(高山村中山)
料 無料
※観覧料がかかります

観覧料 一般11300円、大学・高校生11200円、中学生以下11無料
申し込み方法 当日、会場に直
他 歩行が困難な人は、当館の駐車場と会場の間を送迎します。駐車場トイレ横のインターホンでご連絡ください
問 ☎0279・70・5300

土屋文明記念文学館企画展 記念講演会

「萩原恭次郎生誕120年記念展『詩とは? 詩人とは?』」の記念講演会です。
日 11月30日(土) 午後2時～3時30分
所 県立土屋文明記念文学館(高崎市保渡田町)
演題 萩原恭次郎とダダ・未来派・アーネキズム―『死刑宣告』を中心に
講師 塚原史(早稲田大学名誉教授)
定 150人(定)
料 無料
申し込み方法 ☎または事前に来館
申・問 ☎027・373・7721



萩原恭次郎

茨城・栃木に出掛けよう!

秋・冬の行楽シーズンに出掛けてみてはいかがでしょう?
※3県連携企画として茨城・栃木の観光情報を紹介します

茨城

茨城の絶品「あんこう鍋」

茨城の冬の味覚「あんこう」。特徴的な見た目ながらさっぱりとした味わいで、コラーゲンたっぷりの白身や脂が乗った肝は絶品です。11月～3月にかけて旬を迎えるあんこうを余すところなく楽しむなら、骨以外の部位全てを美味しく味わえる鍋がおすすめ。茨城であんこう鍋を味わい、身も心も温まりませんか?
詳しくは、県公式観光情報サイト「観光いばらき」(HP参照)をご覧ください。



あんこうを余すところなく楽しめる鍋

栃木

秋色に染まる絶景「太平山」

蔵の街・栃木市の西に位置する太平山。赤や黄色に色づいたモミジで彩られる紅葉は見事です。山頂近くの謙信平からは関東平野が一望でき、周囲の峰々が霧に浮かぶ雄大な景観は「陸の松島」と称されるほど。秋晴れの日には、遠くに富士山や東京スカイツリーなどを見ることが出来ます。また日本夜景遺産に認定された夜の眺めも圧巻です。
11月下旬には「もみじまつり」が開催され「玉子焼き」無料体験教室や風船パフォーマンス、太平山随神太鼓など、楽しいイベントが盛りだくさん。また山頂付近の茶店では、太平山三大名物「焼き鳥・玉子焼き・だんご」が味わえます。
名物を堪能しながら、太平山の紅葉とともに秋の澄んだ空に広がる関東平野の絶景をお楽しみください。



赤や黄色に色づく太平山のモミジ

祭りの期間 11月15日(金)～12月1日(日)
問 栃木市観光協会 ☎028・2・25・2356